DIGITAL CAMERA

1,200万画素　コンパクトデジタルカメラ

DS-DC1201BK/SV/WH

取扱説明書

本製品の使用にあたり、ご注意頂きたい事項

SD カードはご用意ください
本製品に SD 及び MMC メディアは付属しません。別途ご用意ください。

使い始める前に現在日時の設定をしてください　P9
カメラ本体の時計と現在日時をあわせます。日時の設定を行わないと、撮影した画像の作成日時を正しく記録することができません。お使い頂く前に必ず日時設定を行なってください。

笑顔検出機能について　P26
笑顔検出機能の反応には条件や個人差があります。

充電や撮影枚数について
本書に記載の充電や撮影可能枚数や本体メモリへの記録量等は使用状況により差がありますので目安とお考えください。

三脚穴はありません
カメラ本体に三脚を取り付ける為の穴はありません。

目次

はじめに ―― P02

1. 各部名称 ―― P05
本体ボタン機能や端子名等の解説

2. 撮影準備 ―― P06
充電やメディア挿入、日付／時刻設定等

3. 静止画の撮影 ―― P10
静止画の撮影と各種設定

4. 動画の撮影 ―― P15
動画の撮影と各種設定

5. 撮影データの確認 ―― P18
撮影したデータの再生方法と各種設定

6.PC 接続とデータ保存 ―― P21
PC へのデータ転送

7. テレビとの接続 ―― P22
テレビ画面への AV 出力

8. 故障かな？　と思ったら ―― P23
不具合時の対処法と機能の補足

製品仕様 ―― P28

お問い合わせ ―― P28

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読み頂き、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう大切に保管してください。

セット内容

パッケージの中に以下のものが入っているかをよく確認してください。不足品がありましたら、弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

- デジタルカメラ
- USB ケーブル
  （形状：オス A ～オス miniB5 ピン）
- AV ケーブル
- 電源アダプタ
- バッテリー
- 取扱説明書
- クイックガイド
- 保証書

ご使用上の注意

- ご自身で修理や分解をしないでください。高電圧な部品もあり大変危険です。また、強い力をかけたり重い物を置いたりしないでください。
- 本製品は防水仕様ではありません。雨中やプールサイド等、湿度の高い場所で使用しないでください。また、濡れた手で触れないでください。水気によるショートや、感電のおそれがあります。
- 各種配線は本書に従い、正しく配線を行ってください。正規の配線が行われないと故障や損傷、あるいは身体に危険が及ぶおそれがあります。
- お手入れの際は必ず電源を切り、バッテリーやケーブルを外してください。乾いた柔らかい布で手入れを行い、アルコール、シンナー等は使用しないでください。
- 寒い場所から暖かい場所に移動した時、内部で結露を生じる場合があります。その場合は 1 、 2時間様子をみて、周辺環境に馴染ませてからお使いください。また、対策として移動時は保護用のケースに入れて持ち歩くことをお勧めします。
- 不安定な場所、ホコリの多い場所、高温多湿な場所、通気の悪い場所、直射日光にあたる場所に置き去りにしないでください。また、車内への置き去りもご遠慮ください。
- 液晶画面は精密部品です。稀に常時点灯もしくは消灯するドットが存在します。これらは故障ではありません。
- レンズ部や端子部を汚れた手で触らないでください。またレンズやボタンのすき間から液体や砂、異物等が入らないようにお気をつけください。
- 大切な撮影（旅行や結婚式等）の前には必ず試し撮りをして、正しく撮影されることを確かめてください。万が一機器の不具合により撮影の機会を逃した場合でも、弊社ではその機会や損失を保証することはできません。
- フラッシュ撮影時に発光部を至近距離でのぞきこんだり人に向けたりすると視力障害等の事故につながる可能性があります。また、発光部を直接触れると発光熱でやけどをする場合もありますのでご注意ください。

メディアの挿入、電源接続の注意

- 直接挿入が可能なメディアは SD/MMC です。これ以外の異物の挿入は機器の故障につながりますので、絶対におやめください。また、メディアやケーブルを接続する場合は端子の向きを確認した上で挿入してください。間違った向きで無理矢理挿入すると端子部が破損したり、メディアが取り外せなくなったりします。
- 万が一故障や不具合が発生し、メディアや本体メモリのデータや機会損失があった場合、その補償については弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 大容量の記録メディアを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。
- 本体メモリは一部システム領域として使用されるため、全てをデータ保存にあてることはできません。保存枚数や時間はご使用の条件により異なりますので、目安としてください。また、データは機器故障等による損失に備え、定期的にバックアップをとってお使いください。

電源供給に関する注意

- 付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、電源アダプタの電圧が家庭用コンセントの電圧と合っているかを確認してください（AC100V）。
- 電源アダプタは十分に注意し、適切に配線してください。ケーブルを束ねて使用すると、アダプタや本体に負荷がかかり故障の原因となります。
- 配線が切れかかったケーブルは使用しないでください。ショートによる火災の原因になります。
- PC と接続して電源供給させる場合、PC 電源がオフになっている時や、休止状態の時は充電が行われません。

著作権についての注意

- 撮影データは個人として楽しむ他は著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。なお、実演や興業、展示物等の中には個人として楽しむ等の目的であっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

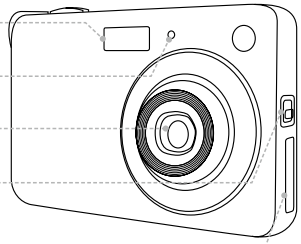
バッテリーについて

- お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、バッテリー残量が著しく低下している時は動作が不安定になります。この場合は充電を完了させてからご使用ください。
- バッテリーの充電は、電池残量がなくなった後に行ってください。
- カメラやバッテリーが異常に熱を持つ、異臭や発煙、液漏れ、膨張した場合は直ちに使用を中断し、弊社までご連絡ください。尚、上記のような症状が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
- 電源コンセントに差しっ放しにする等の過充電を行うと、故障や事故を引き起こす恐れがあります。また、バッテリーの消耗を早める場合がありますのでご注意ください。バッテリーは消耗品です。使い続けることで撮影可能時間は徐々に短くなる傾向にあります。
- バッテリーを含む本製品の廃棄は、お住まいの自治体で定められている方法で正しく行ってください。

あらかじめご了承頂きたいこと

- 本書の内容、本製品の仕様・外観等は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきまして万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り等、お気づきの点がございましたら弊社サポートセンターまでご連絡ください（お問い合わせ先は付属の保証書をご覧ください）。
- 本書の一部または全部を無断で複製することを禁止します。また、個人としてご利用になる他は著作権法上、当社に無断での使用はできません。
- 本製品の使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害・逸失利益・第三者からのいかなる請求につきまして弊社では一切その責任を負えません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動から生じた故障や損傷に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
- 地震や雷の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因する損害および逸失利益につきまして弊社では一切の責任を負えません。
- 購入日・購入店の記載の無い物、保証書に記載された内容に相違のある場合等、弊社では一切の責任を負えません。
- 本製品は一般家庭での使用を目的に製造されています。特に業務用（店舗展示用や長時間連続使用等）に使用された場合や、一般家庭内でも過度に長時間連続で使用された場合は保証期間内であっても弊社保証の対象外となります。
- 本製品は日本国内での使用を想定して製造されています。海外での使用はサポート及び保証の対象外とさせていただきます。

1. 各部名称



［フラッシュ発光部］

［タイマー撮影ランプ］

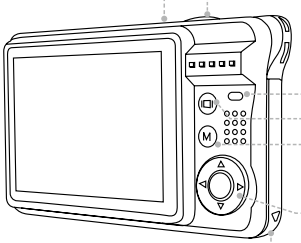
［レンズ］

［フォーカス切り替え］
スイッチを上下にスライドすることで近・遠景のフォーカスモードを切り替えます。

［端子カバー］
ラバー製のカバーを開くと miniUSB、及び AV 出力端子が格納されています。

［電源ボタン］
電源のオンとオフを切り替えます。

［シャッターボタン］
撮影を行ないます。



［充電ランプ］

［機能切り替えボタン］
ボタンを押す毎に静止画撮影、動画撮影、再生画面の機能を切り替えます。

［メニューボタン］
各種設定を行なうメニュー画面を表示します。

［方向・決定ボタン］
撮影中は撮影機能切り替え、メニュー画面では各種選択と切り替えに使用します。

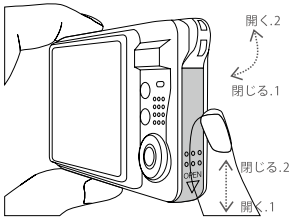
［メディアカバー］
カバーを開くとバッテリースロット、及び SD/MMC スロットが格納されています。

2. 撮影準備

メディアの接続やバッテリー充電、撮影前に設定する内容等をまとめてあります。特に、バッテリーの充電や日時設定等は注意が必要です。本書の案内に従い用法を守ってお使いください。

2-1. メディアカバーの開閉

メディアカバーを開けるとメディアスロット、及びバッテリースロットが格納されています。カバーの開閉は右図を参照し、下記手順で行なってください。



（図 2-1A）

［カバーを開ける］
（図 2-1A）を参照してカバーに指をあてがい、下方へスライドします（↓開く .1、スライド量は 5mm 程です。不十分だとカバーのはね上げ角が小さくなってしまいます）。指を離すとカバーがはね上がります（↑開く .2）。

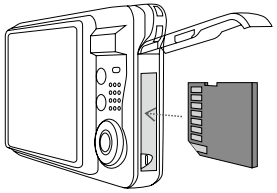
［カバーを閉じる］
閉じる時はカバーをカメラ本体側に押さえつけながら（←閉じる .1）上方へスライドします（↑閉じる .2）。

［カバー内部の構造］
カバーを開けた内部は右側がバッテリー格納スペース、左側が SD/MMC メディアの格納スペースとなっております。下部にはバッテリーを固定するためのバッテリーロックが備わります（図 2-1B）。

（図 2-1B）

2-2. メディアの挿入

前ページの［カバー内部の構造］、及び図 2-2A を参照し、向かって左側のスロットに SD もしくは MMC メディアを挿入します。カメラを背面から見た時に、メディアの端子側が手前にくるよう向きを確認して挿入してください。スペースが狭いので爪の先等を使って「カチッ」と音がするまで押し込んでください。メディアを取り外す時は更に押し込むことでロックが解除され、メディアが飛び出します。

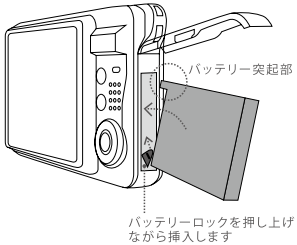


（図 2-2A）

［本体メモリへの保存］メディアが未挿入の時は本体メモリに静止画や動画を記録することができます。撮影画質を下げることにより撮影枚数と時間は多くなります。本体メモリへの撮影枚数と時間は条件により異なりますが、以下を目安としてください。
静止画 12M 画質での撮影時は約 7 枚、動画 VGA 画質での撮影時は約 1 分です。

2-3. バッテリーの装着

前ページの［カバー内部の構造］及び図 2-2B を参照し、向かって右側のスロットにバッテリーを挿入します。バッテリーは一部が突起しています（図 2-2B、点線の円で囲んだ部分）。突起部を上方、及び奥に向けて、カメラ側のバッテリーロックを押し上げるようにして挿入します。
適切に取り付けが行なわれるとバッテリーロックが図 2-1B 中の矢印のようにスライドしてバッテリー下部にひっかかります。
バッテリーを取り外す時は図 2-1B の矢印と逆側にロックをスライドしてください。

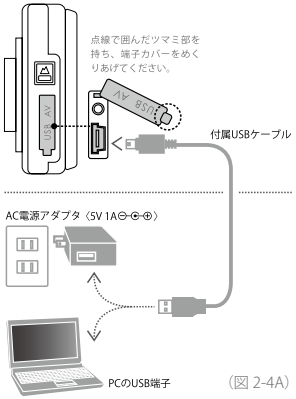


（図 2-2B）

続いて充電方法をご紹介します。次ページを読み進めてください。

2-4. バッテリーの充電

［端子カバーの開閉］
カメラ側面の端子カバーを開きます。図 2-4A 内、点線の丸い囲みで示した部分にツマミがあります。軽く持ち上げると USB と AV 端子が格納されています。



（図 2-4A）

［電源の接続］
充電はカメラの電源をオフにした状態で行ないます。付属の USB ケーブルを使って、USB 端子と電源アダプタもしくは PC の USB 端子に接続すると充電が始まります。

［充電と撮影時間］
充電時はデジタルカメラ本体背面の充電ランプが青く点灯します。充電に要する時間は約 100 分で、完了後に充電ランプが消灯します。
充電後、挿入メディアへの静止画撮影枚数は約 300 枚（CIPA 準拠）、動画撮影時間は約 120 分となります。

［充電 に関する各種注意］
- 充電はカメラの電源をオフにした状態で行ないます。PC 接続時にカメラの電源がオンになっていると充電が行なわれません。また、PC 起動時に限り電源供給が可能です。PC 電源がオフまたは休止状態になっていると、バッテリーの充電は行われません。
- 充電完了後は電源アダプタ、および PC との接続を解除してください。つないだままにすると過度な充電が行われ大変危険ですのでお止めください。
- 充電所要時間は目安です。充電ランプが消灯し、充電終了のサインが出たら接続を解除してください。

［撮影枚数と時間］
記載の撮影枚数と時間は目安です。撮影条件や頻度、方法（設定やフラッシュの有無、メディア容量等）によっても異なります。また、バッテリーは消耗品です。使用を続けることで劣化し、使用可能な時間は徐々に短くなります。

2-5. 現在日時の設定

撮影開始前に日時設定を行なってください。日時設定を行わないと撮影画像の作成日時を正しく記録することができません。

［電源を入れる］
電源ボタンを押して電源をオンにします。

［設定メニュー画面を表示させる］
メニューボタンを一度押してメニュー画面を表示させます。右方向ボタンを押すと上部アイコンの選択が切り替わり「設定メニュー」画面が表示されます（図 2-5A）。

［日時を設定する］
方向ボタンの上下で「日付／時刻」を選択後、決定ボタンを押すと「日付／時刻設定画面」が表示されます（図 2-5B）。画面内操作は以下の要領で行なってください。

（図 2-5A）

（図 2-5B）

［画面表示］
（1 行目）：年、月、日が表示されています。
（2 行目）：時、分、秒が表示されています。
（3 行目）：YY 年 /MM 月 /DD 日の並びを表示しています。
（オレンジ色の背景）：選択状態であることを表します。

［ボタン操作］
（左右方向ボタン）：選択項目を切り替えます。
（上下方向ボタン）：選択中項目の数値を調節します。
（決定ボタン）：日時設定完了後に押すと、設定が確定されます。

［補足］
設定後は狂いが無いかを定期的に調整してください。また、購入時以外にも次のような場合には再度日時設定が必要です。バッテリーを使い切った時、またはバッテリーをカメラ本体から抜き取った時。

3. 静止画の撮影

静止画の撮影についてご紹介します。前半は一般的な撮影方法を、後半では静止画撮影に関する各種設定について記載しています。

3-1. 静止画の撮影

［電源のオン／オフ］
電源ボタンを押す毎に電源のオンとオフが切り替わります。電源がオンになると液晶画面が点灯し、静止画撮影モードが立ち上がります。

［撮影する］
画面を見ながら構図を決め、シャッターボタンを押すと静止画が撮影されます。

［デジタルズーム］
上下方向ボタンを押すことでデジタルズームの倍率（1～8倍）が切り替わります。

［露出補正］
撮影中に左方向ボタンを押すと露出補正画面が表示されます。画面内では右方向ボタンを押すと＋（明るくなる）に、左方向ボタンを押すことで－（暗くなる）に補正され、決定ボタンを押すことで調整が確定されます。

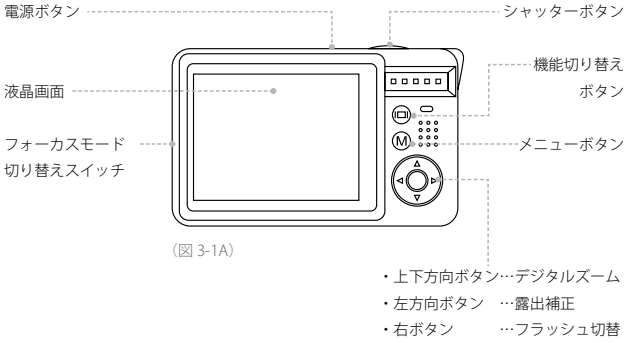
［フォーカス切り替え］
カメラ側面のフォーカス切り替えスイッチを上下させると 近景と 遠景のフォーカスモードが切り替わります。撮影可能距離は近景で 0.3m ～、遠景で 1m ～となります。

［フラッシュ撮影］
撮影中に右方向ボタンを押す毎にフラッシュ撮影の設定が切り替わります。
・発光禁止　・自動発光　・強制発光

［フラッシュに関する補足］
- フラッシュ撮影は連続して行なえません。一度シャッターを切ったらフラッシュに蓄電されるまでしばらくお待ちください。
- バッテリー残量が少なくなっている時はフラッシュ撮影が行なわれません。充電完了後にお使いください。
- フォーカスモードで近景が選ばれている時は強制的に発光禁止となり、フラッシュ撮影が行なえません。

［撮影画像を確認する］
機能切り替えボタンを押す毎に静止画撮影→動画撮影→再生画面の機能が切り替わります。静止画撮影モードから機能切り替えボタンを 2 回押すと再生画面が表示されます。再生画面では左右方向ボタンを押すことで再生画像が切り替わります。

［静止画撮影時、主に使用するボタンの配置］
静止画撮影時の主なボタン配置を以下に示します。前ページと合わせてご確認ください。



（図 3-1A）

［静止画撮影時の画面表示］
静止画撮影中の液晶画面には各種アイコンが表示されており、これらは現在設定されている撮影状態を示しています。

（図 3-1B）

3-2. 静止画撮影に関する設定

静止画メニュー

［メニュー画面の表示］

Ⓜ メニューボタンを押す毎に各種設定が行なえるメニュー画面の表示と非表示が切り替わります（図 3-2A）。

メニュー画面は選択中の機能モードにより表示される内容が異なります。

「静止画メニュー、動画メニュー、設定メニュー、再生メニュー」の計 4 種のメニュー画面が存在し、現在設定可能なメニューアイコンが最上段に表示されます。

［メニュー画面内の操作］

メニュー画面内の主な操作をご紹介します。下記と右図の番号表示を照らし合わせてご確認ください。

①メニュー画面内では選択中の項目がオレンジ色に反転して表示されます。
上部のメニューアイコンから設定したい項目を左右方向ボタンで選択します。

②設定したい項目をメニュー一覧より上下方向ボタンで選択後、決定ボタンを押します。

③変更可能な仕様一覧が表示されます（図 3-2B）。上下方向ボタンで選択後、決定ボタンを押すと仕様が切り替わります。

④設定が終わったらメニューボタンを押してメニュー画面を閉じます。

（図 3-2A）

（図 3-2B）

…以上がメニュー画面の主な操作です。次ページより静止画メニュー画面内の各種設定詳細をご紹介します。

［静止画メニュー］

静止画メニューについてご紹介します。画面上部のメニューアイコンで静止画（カメラのアイコン）が選ばれているのを確認してください。

セルフタイマー

通常撮影、もしくはタイマー撮影のいずれかを選択します。

・オフ（通常撮影）
・10 秒（シャッターボタンを押してから 10 秒後にシャッターが切られます）

サイズ

撮影画像のサイズを選択します。

・12M（4,032 × 3,024pixel）
・9M （3,456 × 2,592pixel）
・5M （2,560 × 1,920pixel）
・3M （2,048 × 1,536pixel）
・1.3M（1,280 × 960pixel）
・VGA（640 × 480pixel）

画質

撮影画質を選択します。画質を優先させるとデータサイズが大きくなり、データサイズを抑えると画質が下がります。

・スーパーファイン（データサイズ大）
・ファイン
・標準（データサイズ小）

シャープネス

輪郭強調の度合いを設定します。

・ハード　・標準
・ソフト

露出

-2.0 ～ 0 ～ +2.0 の数値で露出補正を行ないます。＋方向は明るく、－方向は暗い画像に仕上がります。

ホワイトバランス

撮影環境の周辺光に合わせて選択します。

・自動　・晴れ　・曇り
・白熱灯　・蛍光灯

シーン

撮影シーンに合わせて選択します。

・自動　・風景　・逆光
・夜景　・ポートレイト　・スポーツ

ISO 感度

ISO 感度を上げると暗所撮影時でもシャッタースピードを上げることができますが、撮影画像にノイズや荒れが生じます。

・自動　・50　・100　・200

笑顔検出

オンに設定すると人物の笑顔を検出した時にシャッターが切られます。

・オン　・オフ

［補足］
笑顔検出機能は横顔には反応しません。また、反応には条件や個人差があります（P26 を参照）。

手ぶれ軽減

オンに設定すると撮影画像のブレを軽減します。

・オン　・オフ

［設定メニュー］

続いて設定メニューについてご紹介します。画面上部のメニューアイコンで設定（スパナのアイコン）が選ばれているのを確認してください。

（図 3-2C）

日付 / 時刻
現在日時を設定します。撮影を始める前に必ず設定してください。操作の詳細は P09 をご確認ください。

自動電源オフ
オフ以外を選ぶと、一定時間操作が無い時に電源を自動的にオフにします。
・オフ　・1 分　・3 分

ビープ音
各種操作音の出音と消音を切り替えます。
・オフ　・オン

言語
・英語　・オランダ語
・ドイツ語　・フランス語
・スペイン語　・イタリア語
・ポルトガル語　・日本語
・中国語（簡体）　・中国語（繁体）

［補足］
本書は言語設定が日本語の状態を想定して作成されています。その他言語に対応する説明書の用意はありません。

日付プリント
撮影画像に日付や時刻を映し込みます。
・日付／時刻　・日付　・オフ

［補足］日付プリントは静止画撮影時のみ有効な機能です。また、撮影後の変更ができません。大事な撮影の際にはご注意ください。

電源周波数
お使いの地域の電源周波数に合わせて設定してください。　・50Hz　・60Hz

［補足］電源周波数の設定を誤ると撮影画像や映像にノイズや荒れが生じ、綺麗に撮影することができません。撮影時はご注意ください。

TV 出力
接続するテレビの仕様に合わせ、TV 方式を NTSC もしくは PAL から選択します。日本国内では NTSC が採用されています。通常は NTSC を選択してください。

フォーマット
全てのデータを削除します。メディアを選択後決定ボタンを押すと確認画面が表示されます。実行を選んで決定ボタンを押すとデータが削除されます。

初期設定
メニュー画面内の各種設定を出荷時の設定に戻します。初期設定項目で決定ボタンを押し表示される確認画面で、実行を選んで決定ボタンを押すと設定が出荷時の状態に戻ります。

バージョン
カメラのソフトウェアバージョンをご確認頂けます。

4. 動画の撮影

動画の撮影についてご紹介します。前半は一般的な撮影方法を、後半では動画撮影に関する各種設定について記載をしてあります。

4-1. 動画の撮影

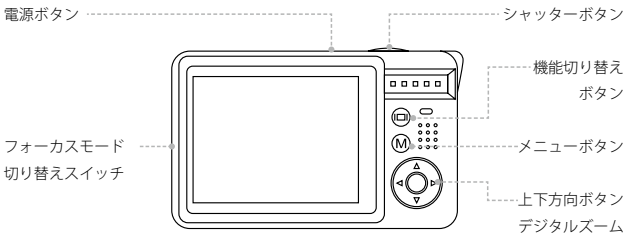
［電源のオン／オフ］
電源ボタンを押して電源がオンになると液晶画面が点灯し、静止画撮影モードが立ち上がります。動画撮影を行なう場合は 機能切替ボタンを 1 回押して動画撮影モードに切り替えると動画撮影画面（図 4-1B）が表示されます。

［撮影する］
画面を見ながら構図を決め、シャッターボタンを押すと動画撮影が開始されます。撮影中にシャッターボタンを押すことで動画撮影が終了されます。

［デジタルズーム］
上下方向ボタンを押すことでデジタルズームの倍率（1 ～ 3 倍）が切り替わります。

［撮影動画を確認する］
機能切り替えボタンを押す毎に静止画撮影→動画撮影→再生画面の機能が切り替わります。動画撮影モードから機能切替ボタンを 1 回押すと再生画面が表示されます。再生画面では左右方向ボタンでデータ選択後、決定ボタンを押すと選択した動画の再生が始まります。動画再生中は決定ボタンで一時停止と再開、左右方向ボタンで早送りと巻き戻し、下方向ボタンでデータ選択画面に戻ります。詳細は P19 をご覧ください。

［動画撮影時、主に使用するボタンの配置］
動画撮影時の主なボタン配置を以下に示します。前ページと合わせてご確認ください。



（図 4-1A）

［動画撮影時の画面表示］
動画撮影中の液晶画面には各種アイコンが表示されており、これらは現在設定されている撮影状態を示しています。

（図 4-1B）

［補足］画面右上の撮影可能時間の目安はバッテリーの持続時間では無く、対象メディアの容量に対する記録可能時間の目安となります。

4-2. 動画撮影に関する設定
動画メニュー

（図 4-2A）

［メニュー画面の表示］
Ⓜ メニューボタンを押す毎に各種設定が行なえるメニュー画面の表示と非表示が切り替わります（図 4-2A）。
メニュー画面は選択中の機能により表示される内容が異なります。動画メニューを表示させるには動画撮影モードを表示させた状態でメニューボタンを押してください。

［メニュー画面内の操作］
詳細は静止画メニュー画面の紹介ページをご参照ください（P12）。

［動画メニュー］

画面上部のメニューアイコンで動画（ビデオカメラのアイコン）が選ばれているのを確認してください。

サイズ
撮影動画のサイズを設定します。
・VGA （640 × 480pixel）
・QVGA（320 × 240pixel）

［設定メニュー］

設定メニューの詳細は設定メニュー画面の紹介ページをご覧ください（P14）。

5. 撮影データの確認

撮影データの確認方法をご紹介します。前半は再生機能モードでの各種操作を、後半では再生やデータ保管に関する各種設定について記載しています。

5-1. 再生画面の表示

電源ボタンを押して電源がオンになると液晶画面が点灯し、静止画撮影モードが立ち上がります。撮影データを確認する場合は 機能切替ボタンを 2 回押して再生モードに切り替えると再生画面が表示されます。

［再生画面の種類］
表示される再生画面には大分類で次の 3 種が存在します。
・ 撮影した静止画の一画面表示（図 5-1A）
・ 撮影した動画の一画面表示（図 5-1B）
・ サムネイル表示（図 5-1C）

［静止画の一画面表示と操作］
図 5-1A は静止画を撮影後に一画面表示させた時の表示です。
この画面の表示中は以下のボタン操作が行なえます。

・ 左右方向ボタン
　次または前のデータを表示させます。

・ 上方向ボタン
　上方向ボタンを押す毎に段階的に拡大表示されます（1 ～ 4 倍）。
　拡大表示中に決定ボタンを押すと拡大中画面の表示領域を方向ボタンを使って移動できるようになります。元に戻す時は再度決定ボタンを押してください。

（図 5-1A）

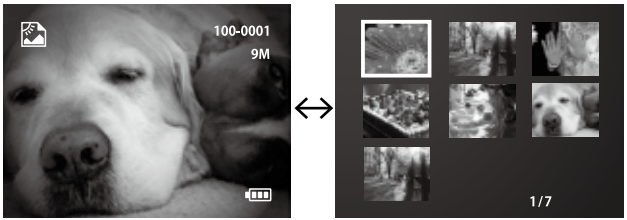
［動画の一画面表示と操作］
図 5-1B は動画を撮影後に再生画面にて一画面表示させた時の表示です。この画面の表示中は次のボタン操作が行なえます。
・ 左右方向ボタン
　次または前のデータを表示させます。
・ 決定ボタン
　表示中の動画データが再生されます。［動画再生中の操作］をご覧ください。

［動画再生中の操作］
・ 決定ボタン
　再生、一時停止及び再開。
・ 左右方向ボタン
　再生中に一押しすると順送り、もしくは逆送りの切り替え。再生中に長押しすることで、早送りまたは巻き戻し。
・ 下方向ボタン
　再生を止めて一画面表示に戻ります。

（図 5-1B）

［補足］動画再生中、カメラ本体から音声は出力されません。

［サムネイル画面］
静止画及び動画の一画面表示中（図 5-1A'）に下方向ボタンを押すとサムネイル表示（図 5-1C）に切り替わります。サムネイル表示では方向ボタンで再生させたいデータを選んで決定ボタンを押すと一画面表示になります。



（図 5-1A'）　（図 5-1C）

5-2. 再生に関する設定
再生メニュー

［メニュー画面の表示］
Ⓜ メニューボタンを押す毎に各種設定が行なえるメニュー画面の表示と非表示が切り替わります（図 5-2A）。
メニュー画面は選択中の機能により表示される内容が異なります。再生メニューを表示させるには再生モードを表示させた状態でメニューボタンを押してください。

［メニュー画面内の操作］
詳細は静止画メニュー画面の紹介ページをご参照ください（P12）。

［再生メニュー］
画面上部のアイコンで再生が選ばれているのを確認してください。

削除
撮影したデータを削除します。リストから「削除」を選び決定ボタンを押すと次の選択画面が表示されます。
・この画像（映像）
・全て
任意に選択後、決定ボタンを押すと確認画面が表示されます。実行を選んで決定ボタンを押すとデータが削除されます。

保護
画像の上書きや削除が行なえないよう保護することができます。リストから「保護」

（図 5-2A）

を選んで決定ボタンを押すと、次の保護条件の一覧が表示されます。
・保護
　表示中のデータを保護の対象とします。
・保護解除
　表示中のデータの保護を解除します。
・全て保護
　全データを対象に保護をします。
・全て保護解除
　全データの保護を解除します。
任意に選択後に決定ボタンを押すと、操作が実行されます。

［注意］フォーマット操作を行なうと保護されたデータも消去されます。

スライドショー
撮影したデータ（静止画のみ）を設定時間毎に 1 枚づつ切り替えて表示させます。
・2 秒　　・5 秒　　・8 秒
選択後、決定ボタンを押すとスライドショーが開始されます。スライドショー再生中に決定ボタンを押すと終了します。

6.PC 接続とデータ保存

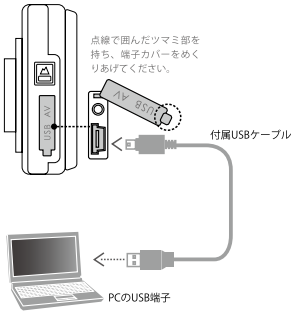
撮影したデータの PC への転送方法をご紹介します。

6-1.PC との接続

［端子カバーの開閉］
カメラ側面の端子カバーを開きます。図 6-1A 内、点線の丸い囲みで示した部分にツマミがあります。軽く持ち上げると USB と AV 端子が格納されています。

［PC との接続］
PC の電源をオンにしてください。続いて付属の USB ケーブルを使って、カメラの USB 端子と PC の USB 端子を接続すると充電状態となります。この時にカメラの電源ボタンを押して電源をオンにするとデータ通信モードに切り替わります。

［PC 上の操作］
撮影したデータを PC に転送します。
①接続完了後、「マイコンピューター」にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。
②リムーバブルディスク内の「DCIM」フォルダをダブルクリック後、内包されているフォルダをダブルクリックし保存されている画像（動画）を選択します。
③画像（動画）が保存されているフォルダやファイルを PC 上にドラッグアンドドロップしてコピーします。
④コピーが終わりましたらタスクトレイ



（図 6-1A）

の「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。無理に接続を解除するとデータが破損する可能性があります。

［動作環境、対応 OS］
・Windows XP
・Windows Vista
・Windows 7
上記条件の全てのコンピューターでの動作を保証するものではありません。

［PC 接続時に認識されるメディア］
カメラ本体に SD もしくは MMC メディアが挿入されている状態で PC に接続した場合は、PC 上には挿入メディア内のデータが表示されます。メディア未挿入時にはカメラの本体メモリの中身が表示されます。

7. テレビとの接続

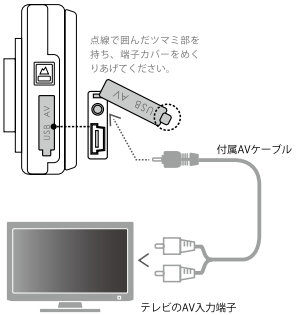
テレビやモニタに接続してカメラの液晶画面の内容を大画面に出力することができます。主に撮影画像を大きな画面で確認したい時等に便利な機能です。

7-1. テレビとの接続

［端子カバーの開閉］
カメラ側面の端子カバーを開きます。図 7-1A 内、点線の丸い囲みで示した部分にツマミがあります。軽く持ち上げると USB と AV 端子が格納されています。

［接続］
付属の AV ケーブルを使って、カメラの AV 端子とテレビの対応する AV 入力端子を接続してください。続いてテレビの電源をオンにして、カメラを接続した外部入力画面に切り替えてください。

［カメラ側の操作］
カメラの電源ボタンを押して電源をオンにしてください。撮影した画像をテレビに映し出すためには機能切替ボタンを押してカメラの機能モードを再生モードに切り替えてください。
再生画面での各種操作は P18 をご参照ください。



（図 7-1A）

［補足］
- テレビとの接続と解除はカメラの電源をオフにした状態で行なってください。
- テレビと接続し、AV 出力機能を使っている時はカメラ本体の液晶画面は非表示となります。
- カメラ側に映像再生中の音量操作機能は搭載されていません。音量操作は接続したテレビ側で行なってください。

8. 故障かな？　と思ったら

正常に動作しない場合はこちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因とその解決方法、並びに各種補足を確認することができます。巻頭に記載の注意書き、及び本項をお読みになっても問題が解決されない場合は保証書の内容をご確認の上で、弊社までご連絡ください。

本体が起動しない
- 本体の電源ボタンを押して、液晶画面の反応を確認してください。反応が無い場合はバッテリーが正しく装着されているかを確認した後、充電をしてください。
- PC から電源供給し充電を行う場合は PC の電源がオフになっているとデジタルカメラに通電されません。

ボタン操作が効かない
- 重たいデータの処理中は読み込みに時間がかかります。この状態で操作を繰り返し行なうと、後で全ての操作が反映され思わぬ誤作動を起こす場合があります。操作はひとつずつ反応を見ながら行なってください。

撮影ができない
- 挿入メディア（SD または MMC）の上書き防止用ロックがなされていると撮影が行えません。

液晶に点が表示される
- ディスプレイは高度な技術で製造されていますが、常時点灯もしくは消灯するドットが存在することがあります。これらは故障ではありません。

表示が英語になっている
- 設定メニュー画面「言語／ Language」で表示言語が切り替わります。

画面が暗くなる、電源が落ちる
- バッテリー残量が極端に少なくなると画面が暗くなったり、急に電源が落ちたりします。その際は充電をしてからお使いください。
- 節電のために一定時間操作が無い場合に電源を自動的にオフにする機能が搭載されています。設定メニュー内の自動電源オフ機能をご確認ください。
- テレビと接続して AV 出力を行なっている時はカメラの液晶画面は消灯状態となります。

撮影日時がずれる
- 日付／時刻設定はお済みですか？　出荷時に日時設定は行われていないため、そ

のまま撮影を始めると画像作成日時が正しく保存されません。撮影を始める前に設定メニュー画面の日付／時刻設定を行い狂いが無いかを定期的に見直し、調整をしてください。また、ご購入時以外にもバッテリーを使い切る、またはバッテリーをカメラ本体から抜き取った時には再度日時の設定が必要です。

撮影枚数、時間が少ない

・記載の撮影可能枚数と時間（本体メモリ、及び挿入メディア共に）は目安です。撮影条件や頻度、方法（操作や設定、ズームやフラッシュの有無等）によっても大きく異なります。またバッテリーは消耗品です。使用を続けることで劣化し、使用可能な時間は徐々に短くなります。

充電時間が長い、短い

・記載の充電所要時間は目安です。使用状況により異なります。充電ランプが消灯したら、電源の接続を解除してください。

充電ができない

・配線は適切に行われていますか？　接続を見直し、充電ランプの点灯を確認してください。
・PC から電源供給を行い充電する場合は、PC の電源がオフまたは休止状態になっていると充電することができません。
・PC 接続時にカメラの電源を入れ、データ転送作業を行っている時は充電が行われません（充電ランプも無点灯になります）この場合は一旦 PC とのケーブル接続を外した後、再度接続してください。

ピントが合わない

・被写体との距離は適切ですか？　本製品は遠景で 1m、近景で 0.3m 以上離れた被写体にピントが合うようになっています。カメラ本体側面のフォーカス切り替えスイッチをスライドし、近遠景のフォーカスモードを切り替えた後に適切な距離を置いて撮影してください。

撮影画像がぶれる

・室内や暗い場所での撮影はシャッタースピードが落ちて撮影画像がぶれ、ぼけやすくなります。カメラを両手でしっかり構えて撮影すると共に以下の方法で対処してください。

---

①フラッシュを使って撮影する
② ISO 感度を上げる
③手ぶれ軽減機能を使用する
手ぶれ軽減機能は補助的な機能です。撮影時はカメラをしっかりと構えてシャッターボタンを押してください。

・シャッターボタンを押した時に鳴る「ピッ」という音は操作受付音です。シャッターボタンを押した後、背面液晶上に撮影画像が一旦表示され、この段階で撮影が完了となります。撮影後の確認表示を待たずにカメラを動かすと画像がぶれてしまいます。撮影は背面液晶の表示を確認しながら行なってください。
・設定メニュー画面の電源周波数の設定が誤っていると、撮影画像にノイズが入ったり波打って見えたりします。使用場所に合わせて適切に設定してください。

画像の色味がおかしい

・静止画メニュー画面内のホワイトバランス項目にて、撮影時の光源色に合わせた色調整が可能です。

撮影画像、音声が乱れる

・PC や家電製品からの電磁波や電波塔、高圧線等の影響で撮影画像や音声が乱れる場合があります。これらの干渉を受けない場所で正常な撮影が可能かをお試しください。
・設定メニュー画面の電源周波数は正しく設定されていますか？　設定を誤ると撮影画像が乱れます。特に蛍光灯下での動画撮影時に顕著にあらわれます。ご使用地域の電源周波数に合わせて設定してください。

フラッシュが光らない

・フラッシュを使った撮影は連続して行なうことができません。一度フラッシュ撮影をした後は、蓄電されるまでしばらくお待ちください（画面内フラッシュアイコンの点滅が蓄電中の合図となります）。
・バッテリー残量が少なくなってくるとフラッシュを使った撮影ができなくなります。その場合はバッテリーを使い切った後、充電をしてからお使いください。
・フラッシュ撮影モードが適切に選ばれていますか？　画面に ⊘ マークが表示されている時は発光禁止となります。
・フォーカスモードの近景が選ばれているとフラッシュ撮影ができません。撮影画面に 🌷 が表示されていないことを確認してください。

画像が暗い、明るい

・露出補正は適切ですか？　撮影時、左方向ボタンは露出補正機能に割り当てられています。ボタンを押すと露出補正画面が表示されますので、調節してお使いください。±0 の表示が標準となりますのでご確認ください。
・暗い場所や逆光下での撮影にはフラッシュを使用してください。但し、フラッシュの届かない所（遠く離れた夜景など）には効果がありません。

メニュー画面が表示できない

・メニューボタンを押して表示されるメニュー画面の内容は静止画撮影時・動画撮影時・再生時等、現在選択している機能モードにより異なります。

再生ができない

・再生が可能なのは本製品で撮影した静止画、動画のみとなります。挿入メディア内に外部から書き込んだデータがある場合でもその動作を保証することはできません。
・動画の再生中、カメラ本体から音声は出力されません。付属の AV ケーブルでテレビに接続することで、テレビ側のスピーカーから記録音声がご確認頂けます。

本体メモリに保存ができない

・本体メモリ内に撮影画像が無い状態であっても各種操作や設定のメモリが蓄積されて撮影が行なえない場合があります。その際は一旦設定メニュー内の

フォーマット操作を行ない内蔵メモリの中身を消去してからお使いください。

設定の初期化

・不具合が出たり設定を見直したい時は、出荷時の状態に戻すことで改善される場合があります。設定メニュー画面「初期設定」を実行してください。

直接挿入が可能なメディア

・対応メディアは SD/MMC です。その他異物の挿入は端子部が破損したり、取り出しができなくなってしまう等、機器の不具合につながりますので絶対におやめください。

メディアやファイルの診断

・メディアやファイルが破損、もしくはウィルス感染していると正常な動作が行なえない他、機器の不具合にも繋がります。PC 上で定期的に診断やウィルスチェックをしてください。

PC 接続後、PC 上で認識ができない

・PC 接続後は、カメラの通電状態によって次のような動作をとります。用途に合わせて電源のオンとオフを切り替えてください。

カメラの電源オフ→充電動作
カメラの電源オン→ PC とのデータ通信動作

PC 接続、初期化時のファイルシステム

・カメラと PC を接続した時や撮影後のメディアを PC に読み込ませた時に稀に一旦初期化してから使用するよう促す案内メッセージが PC 画面に表示される場合があります。PC 上で初期化（フォーマット）をする際にはファイルシステム項目で「FAT」を選択してください。その他のファイルシステムで初期化した場合、メディアが認識されなくなる等、正常に動作しなくなりますのでご注意ください。

起動時の機能モード

・電源起動時は静止画撮影モードで立ち上がります。前回使用時に動画撮影や再生モードが選択されていたとしても、一旦電源をオフにして再度起動させた場合は静止画撮影モードで立ち上がります。

撮影日時の映し込み

・撮影画像上（静止画のみ）に撮影日時をプリントすることができます。設定メニュー内の日付プリントから設定が可能ですが、この操作は撮影後の画像に対しては変更が効きません。大事な撮影の際にはご注意ください。

接続したテレビから出力されない

・テレビ側の対応する端子に接続されているかをご確認ください。
・テレビの入力切り替えでカメラを接続した入力端子が選択されているかをご確認ください。
・カメラの電源がオンになっているかを確認してください。

笑顔検出機能についての補足

・本製品に搭載されている笑顔検出機能は弊社蓄積データの中から人物の表情を解析し笑顔を認識したところでシャッターが切られる機能です。しかしながら万人の表情差の検出が可能な精度は備えていません。笑顔検出機能の精度を上げるためのヒントをご紹介しますのでお試しください。

①横顔には反応しません。真正面からカメラを構えてシャッターチャンスをお待ちください。
②人物の顔が極端に小さい構図では反応しません。一般的なポートレート画を目安に構図を決めてください。
③重用視されるのは主に人物顔面の骨格（特に目鼻口）認識と、表情差（開口及び口角の上がり具合）を解析し判断をしています。
④反応には撮影条件や個人差があります。

ファイル名

・本製品で生成されるファイルの名称は " PTDC0001.jpg（もしくは .avi）" から始まる連番で振られます。撮影後、PC にデータを転送しメディアの中身を消去すると前回撮影時のファイル名の通し番号情報も消去されます。

外観に関する補足

・カメラ本体に三脚穴はございません。
・USB、及び AV 端子を覆う端子カバーは強く引くと本体から外れてしまいますので丁寧にお取り扱いください。

記録や PC 接続時のメディア優先順位

・撮影時、及び PC 接続時は以下の順位で優先的に認識されるメディアが決定します。

（撮影時）
カメラに SD もしくは MMC が挿入されている時は、挿入メディアに撮影画像が記録されます。メディア未挿入の時は本体メモリに記録されます。

（PC 接続時）
カメラに SD もしくは MMC が挿入されている時は、挿入メディアのデータが PC 上に表示されます。メディア未挿入の時は本体メモリのデータが PC 上に表示されます。

本体メモリへの保存

・メディアが未挿入の時は本体メモリに静止画や動画を記録することができます。撮影画質を下げることにより撮影枚数と時間は多くなります。本体メモリへの撮影枚数と時間は条件により異なりますが、以下を目安としてください。静止画 12M 画質での撮影時は約 7 枚、動画 VGA 画質での撮影時は約 1 分です。

デジタルズームに関する補足

・撮影モードによって拡大可能な倍率が異なります。静止画撮影時は 1 ～ 8 倍、動画撮影時は 1 ～ 3 となります。

製品仕様

製品名	コンパクトデジタルカメラ
型番	DS-DC1201BK/SV/WH
本体色	BK：ブラック、SV：シルバー、WH：ホワイト
本体サイズ	95 × 63 × 28mm（横幅・高さ・奥行）約 110g（バッテリー、カードを含む）
有効画素数	1,200 万画素
静止画撮影	［拡張子 .JPG］　解像度 12M（4,032 × 3,024pixel）、9M（3,456 × 2,592pixel） 5M（2,560 × 1,920pixel）、3M（2,048 × 1,536pixel） 1.3M（1,280 × 960pixel）、VGA（640 × 480pixel）
センサー、レンズ	1/2.3 型 CMOS、F2.8　f=7.45mm
デジタルズーム	静止画撮影時 1 ～ 8 倍、動画撮影時 1 ～ 3 倍
撮影距離	遠景 1m ～∞（近景 30cm ～）
撮影感度	ISO 自動・50・100・200
露出補正	EV-2.0 ～ +2.0
記録シーン	自動、風景、逆光、夜景、ポートレート、スポーツ
撮影モード	セルフタイマー撮影（10 秒）、フラッシュ撮影、笑顔検出、手ぶれ軽減
動画撮影	MOTIONJPEG［拡張子 .AVI］ サイズ　VGA（640 × 480pixel）、QVGA（320 × 240pixel） フレームレート 30fps、モノラル音声
液晶モニター	2.7 型、23 万画素
電源	電源アダプタ：5V 1A
電力	消費電力 1W
バッテリー	電圧 3.7V、容量 550mAh　充電時間：約 100 分 静止画撮影枚数：約 300 枚（CIPA）準拠、動画撮影時間：約 120 分
本体メモリ	静止画保存：約 7 枚（画質 12M 撮影時）、動画保存：約 1 分（画質 VGA 撮影時）
入出力端子	入力：SD・MMC スロット /mini-USB（typeB-5pin）、出力：映像・音声
動作環境	温度：5 ～ 35℃
製造国	中国

お問い合わせ

製造元：株式会社ゾックス
〒 231-0033　神奈川県横浜市中区長者町 3-8-13　TK 関内プラザ 304
電話：0120 - 602 - 302　　ホームページ：http://www.zox-net.com
お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の 10 時～ 17 時
※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。